

## 通信ソサイエティ論文賞規程

(平成 18 年 7 月 28 日 通信ソサイエティ執行委員会制定)

(平成 21 年 1 月 26 日 通信ソサイエティ執行委員会改訂)

(平成 22 年 1 月 14 日 通信ソサイエティ執行委員会改訂)

(平成 24 年 1 月 23 日 通信ソサイエティ執行委員会改訂)

(平成 25 年 7 月 29 日 通信ソサイエティ執行委員会改訂)

(平成 26 年 9 月 24 日 通信ソサイエティ執行委員会改訂)

(令和 3 年 3 月 10 日 通信ソサイエティ執行委員会改訂)

1. 通信ソサイエティ論文賞（以下、ソサイエティ論文賞と略記）は情報通信に関する学術または関連事業に関し、他の手本となる優秀な論文に対して表彰する。

2. ソサイエティ論文賞の選定対象は、表彰時期の前々年の 10 月 1 日から前年の 9 月 30 日までに通信ソサイエティ和文論文誌（以下、和文論文誌と略記）、通信ソサイエティ英文論文誌（以下、英文論文誌と略記）、IEICE Communications Express（以下、ComEX と略記）に早期公開されたもの、および通信ソサイエティ和文マガジン（以下、和文マガジンと略記）に掲載されたものとする。

3. ソサイエティ論文賞（IEICE Communications Society Excellent Paper Award）の種類は次の通りとする。

### イ. 優秀論文賞（Best Paper Award）

対象期間に和文論文誌に掲載された論文およびレターで、有効性、体裁、貢献度、信頼性の観点から特に優秀なもの

### ロ. チュートリアル論文賞（Best Tutorial Paper Award）

対象期間に和文論文誌に掲載された招待論文、解説論文およびサーベイ論文のうち、読者への有効性、わかりやすさの観点から特に優秀なもの

### ハ. Best Paper Award

対象期間に英文論文誌に掲載された Paper で、有効性、体裁、貢献度、信頼性の観点から特に優秀なもの

### ニ. Best Tutorial Paper Award

対象期間に英文論文誌に掲載された Invited Paper, Survey Paper のうち、読者への有効性、わかりやすさの観点から特に優秀なもの

### ホ. ComEX Best Letter Award

対象期間に ComEX に掲載された Letter で、新規性、先見性、簡素な記述などの観点から特に優秀なもの

へ. マガジン論文賞 (Best Magazine Paper Award)

対象期間に和文マガジンに掲載された解説論文およびサーベイ論文のうち、読者への有効性、わかりやすさの観点から特に優秀なもの

4. ソサイエティ論文賞の選定は別に定める選定手続きにより行う。
5. 表彰件数は、3. のイ～へを合わせて毎年最大11件までとする。
6. 表彰は、5月の通信ソサイエティキックオフにおいて行う。
7. 受賞者には賞状、賞牌および賞金を贈呈する。賞金は論文1件につき、30,000円とする。
8. 表彰する論文が共著の場合は、共著者全員を表彰する。
9. ソサイエティ論文賞は同一著者に重ねて授賞しても差し支えない。
10. ソサイエティ論文賞は、本部論文賞と重ねて受賞することはできない。
11. 受賞論文はソサイエティホームページ等で発表する。
12. 賞の贈呈のために要する経費は、ソサイエティ会計から繰り入れるものとする。
13. 本規程の改廃は、編集会議における審議に基づいて発議し、通信ソサイエティ執行委員会の承認を受けるものとする。